

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 のとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

東京・埼玉トラック部会3・13トラックパレード開催!!

3月13日(日)建交労東京トラック部会・埼玉トラック部会は、首都圏トラックパレードを開催しました。新型コロナウイルスの影響により、2019年以来となります。参加はトラック15台・宣伝カー3台・乗用車3台、その他新聞記者2名が取材に駆け付けました。葛西トラックターミナル内(近物レックス株式会社棟)で行なわれた出発式では、冒頭に東京トラック部会の矢島副会長(豊島運送支部)が、エッセンシャルワーカーとして感染リスクと闘うトラックドライバーの現状や、先月の物価上昇について触れ「物価の上昇は物流コストの値上げが理由とされる事が多いが、燃料費高騰・適正な人件費の確保など、適正運賃收受のため、やむをえない部分もある。本日のパレードで現状を訴えていく必要がある。」と挨拶しました。続いて、中央本部より角田委員長、首都圏労使協より成瀬会長(教宣文化社代表取締役社長)、東京地評より屋代事務局次長、首都圏交通連共闘より舞弓事務局長から、激励の挨拶がありました。角田委員長は「ウクライナ・ロシアなどの世界的不安情勢による物価上昇・燃料費高騰や、2023年〜24年の法改正がある中で、トラック運輸産業が大きく変革する。改善基準告示などを踏まえた上で春闘に取り組み、世間にも実態をアピールして頂きたい。」と訴えました。奥貫埼玉トラック部会長の決意表明と、鈴木埼玉トラック事務局によるスローガンの確認、都本部遠藤書記長の団結頑張ろうと閉会挨拶の後、出発しました。途中、永代橋付近にて東京都本部の仲間(25名)から激励の応援を頂きました。銀座・新橋を経由しながら約2時間、浜離宮庭園まで事故無くパレードを行いました。【東京トラック部会 事務局長 上村 誠】



22春闘勝利! コロナに負けるな! 大幅賃上げで景気回復を!
中小トラック経営を守ろう! なくせ過労死・長時間労働!



魅力あるトラック産業を! なくそう貧困と格差!
適正な運賃の收受で経営改善を!

3.10 バス関連支部(京新労組) ストライキ決起集会開催!

春闘の「見える化」を求め、バス関連支部(京新労組)は京王電鉄本社前でストライキ集会に取り組みました。コロナ禍の中、バス運転手はエッセンシャルワーカーとして公共交通の安全・安心を守るべく、毎日ハンドルを握っています。長時間残業しなくても人間らしい生活が出来る賃金を求め、要求書を提出しました。会社は、定期昇給は実施するがコロナ禍による経営悪化を理由にベアは無し、一時金は20%カットの回答でした。私達は、こんな時だからこそ溜め込んだ内部留保を活用し、大企業としての社会的責任を果たすべきだと主張しました。しかし、会社は、私達が所属する電鉄バス株式会社(京王電鉄の子会社)の貸借対照表を示しながら、利益は全て子会社の土地や建物に化けており還元できない内部留保は無いと説明。また、その他の利益は全て京王電鉄本社に吸い上げられている事を露呈する回答でした。スト集会は、このような会社の態度や春闘の実態を広くアピールするため「うたえ」の大熊氏によるギターと歌声で、華やかにスタート。バスを待つ乗



京王電鉄本社前(聖蹟桜ヶ丘)

客や買い物客、通行人から注目を集めました。建交労中央本部、都本部、国民春闘共闘、東京春闘共闘、三多摩春闘共闘から代表挨拶を頂き、運輸の仲間である航空運、地域の医療組合、京新労組支援共闘会議など友誼団体の皆さんから支援の挨拶を受けました。発言頂いた全ての方からロシア政府の蛮行に対する抗議と、世界平和の実現が訴えられました。集会後、京王電鉄本社と改めて交渉し、労働者の生活に京王電鉄が責任を果たすよう、再度要求しました。会社は、溜め込んだ内部留保があるにも関わらず、収益が悪化している事を理由に最後まで回答しませんでした。引き続き不屈のたたかいを継続する決意です。ご支援をよろしくお願ひします!
【バス関連支部(京新労組) 執行委員長 佐々木 仁】

3.10 建交労鉄道本部 JR貨物本社前宣伝行動 「JR貨物は賃金・人事制度を見直せ！」

大幅賃上げを求め、人制度を見直せ」「昇給格差をなくせ」「待遇格差をなくせ」「ロシアはウクライナ侵略をやめろ」との声を新宿駅利用者やJR貨物本社前行動を行いました。13時から始まった行動には、宮城地本や東海エリアの貨物会社の組合員、首都圏の東京・埼玉・神奈川地本の組合員や建交労中央本部・都本部の支援者ら25名が集まり「コロナ禍の労働環境悪化を許すな」「JR貨物は大幅にダウンした。これによって若年社員の離職が後を絶たない」と、切実な職場の実態を訴えました。東京都本部の遠藤書記長は、同日開催されたバス関連支部(京王新労組)のストライキ集会を報告し「ロシアによるウクライナ侵攻は国際法違反。ウクライナの主権を侵害する野蛮な行為を糾弾する。原発攻撃、核兵器による威嚇や使用は断じて許されない。」と主張しました。行動の最後に、鉄道東日本の三浦委員長は、JRの駅や車両清掃労働者に対する差別的な労働条件を指摘。新自由主義の弊害と言われる「今だけ金だけ自分だけ」の社会ではなく、ジェンダー平等・ハラスメントのない働きやすい職場をいっしょに作るために、22国民春闘を闘い抜こうと呼びかけました。



JR貨物本社前(新宿駅南口)

副執行委員長 井上 敏

ウクライナに平和を 3・11総がかり行 動実行委員会

「NO WAR!」3月11日(金) 総がかり行動実行委員会は、ロシア政府によるウクライナ侵略に抗議するデモを呼びかけました。新宿中央公園に1200人が集まり、建交労からは中央本部角田執行委員長をはじめ、建築設計支部いしずえ分会、東京女性部などの仲間が結集し「戦争反対・ロシア軍は撤退せよ」を



アピールしました。日本体育大学教授の清水雅彦さん、作家の落合恵子さん、日本共産党小池晃参議院議員、山添拓参院議員等が参加しました。沿道から手を振りデモに賛同される方、携帯電話で写真撮影をする高校生、拍手で応援する外国人の姿など、反戦への共感を感ずる行動でした。高田健総がかり行動実行委員会共同代表は「世界中で侵略戦争に抗議する行動が広がっている、憲法9

22春闘勝利へ! 建交労3・2中央行動開催 厚労大臣宛請願書3,478筆を集約 全労連女性部 菜の花行動開催

3月2日(水)、22春闘勝利に向けて建交労3・2中央行動を実施しました。主催者挨拶で角田季代子委員長はロシア軍によるウクライナ侵攻を強く抗議。被爆国として憲法9条改憲反対の声を広げましょうと訴えました。また、22春闘においてはケア労働者の賃上げを中心課題とし、全組合員の生活と仕事を守る役割を果たそうと訴えました。その後、トラック部会や北海道本部などの代表が決意表明を行いました。午後からは全労連の日比谷野音での決起集会への参加、トラック部会、



衆議院第一会館(オンライン併用)で開催

組合掲示板

- 4月 3日(日) 14時~17時迄~建交労東京学校第1回労働組合の基礎・労働組合とは何か・労働者の権利(リモート)
- 5月 1日(日) 第93回メデー代々木公園10時開場(リモート併用) ※詳細は実行委員会の提案をお待ち下さい。
- 5月 3日(火) 憲法集会 ※詳細は実行委員会の提案をお待ち下さい。

鉄道本部、学童部会が政府交渉、交労女性部も結集しました。厚労大臣宛個人請願書は3478筆を集約し、トラック部会の代表者が直接提出しました。【建交労中央本部 月間推進ニュース第7号より】

22春闘回答
コロナ前の水準に
全労連・国民春闘
共闘経過報告

全労連など国民春闘共闘委員会の3月10日段階の初回答は単純平均で5516円(2%)で、昨年同期を346円上回っている。コロナ前の19春闘の水準に戻した。3月11日、都内で会見を開いた。春闘共闘は昨年より1週間早く設定。今春闘ではケア労働者の賃上げを全面に押し出し、製造業では80組合の単平均が昨年同期を69円上回る5789円、純平均が昨年同期を69円上回る5789円【連合通信3・12より】

87%でこちらはほぼ(2・05%)。一方、横ばい。看護師等医療関係は単純平均が5264円(1・92%)で、昨年の回答は時給制の64件の引上。昨年同期を2・2円上回る。黒澤事務局長は会見で「コロナ前の19春闘とほぼ同額に戻す結果になったが、極めて不十分。コロナ禍の長期化、物価高騰、ウクライナ危機の『3重苦』から生活を守るために大幅な賃上げが必要だ」と強調した。岸田政権の賃上げ税制について、中小企業の大幅賃上げにはつな